

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第45報 ～

**NEW** 2004年1月からピコ植物プランクトン情報を追加しました。

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成16年2月16日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Cyclotella glomerata*  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4～10 μmと小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



*Nauplius*  
(ノウプリウス)  
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。  
中央に円盤状の口を有する。

コメント

植物プランクトンは、珪藻に属する種類が増加し全体の98%を占め、おもな種類は、キクロテラ グロメラータ、アステリオネラ フォルモーサ、ニッチャ アキキュリスなどであった。昨年と同時期に比べると、総細胞数は約16倍と多かった。動物プランクトンは、ノウプリウスやドロウムシ、繊毛虫に属するステケーシアが、少ないが観察された。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Nauplius</i>	30

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪 虫 類	<i>Synchaeta oblonga</i>	25

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

## (2) 植物プランクトン

平成16年2月16日

第45報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	8000		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	210		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	50		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	1200		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	1500		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	140		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	10980	98.3	92.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.1	0.1
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	1.6	7.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	0	0.0	0.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	11170	総体積	3.40E+06
種類数	10	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	2月16日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	4,400

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 $\mu\text{m}$ (1 $\mu\text{m}$ は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、観察するためには落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。